



諏訪湖通信1号

平成30年7月25日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



4ライオンズクラブ環境フォーラム&諏訪湖創生ビジョンキックオフを開催しました

- 日時 平成30年3月25日(日)13:00~16:30
- 場所 諏訪市文化センター
- 参加者 約250名
- 取組発表「諏訪湖をもっと元気に」高島小学校3年1組
「諏訪湖をきれいにしちゃいましょう大☆作☆戦」
信州高校生プロジェクト



写真-1 事例発表の様子

- 講演「官民協働による諏訪湖創生ビジョンの実現に向けて」
長野県副知事 中島恵理
- パネルディスカッション「未来の地域環境について」
パネリスト: 長野県副知事 中島恵理
: 諏訪市長 金子ゆかり
: 諏訪観光協会会長 佐久秀幸
コーディネーター: ライオンズクラブ 西村厚志

- 取組宣言
最後に、児童、高校生、ライオンズクラブ、民間団体等の代表者がステージに立ち『取組宣言』を読み上げ、閉幕。

写真-2 取組宣言を読み上げる代表者たち



第1回諏訪湖創生ビジョン推進会議を開催しました

- 日時 平成30年5月28日(月)13:30~16:30
- 会場 長野県諏訪合同庁舎講堂
- 参加者 諏訪湖創生ビジョンの具体化に関心があり、参加を希望する団体及び個人 約100名
- 会長 今後決定
- 事務局長 酒井裕子諏訪地域振興局長
- 事務局 諏訪地域振興局及び諏訪湖クラブ
- 内容

事務局から諏訪湖創生ビジョン推進会議の規約案について説明があり、承認されました。

その後、8グループに分かれ、テーマ毎にグループ討議を行い、最後に各グループから意見発表を行いました。



写真-3 ワークショップの講評をする中島恵理副知事

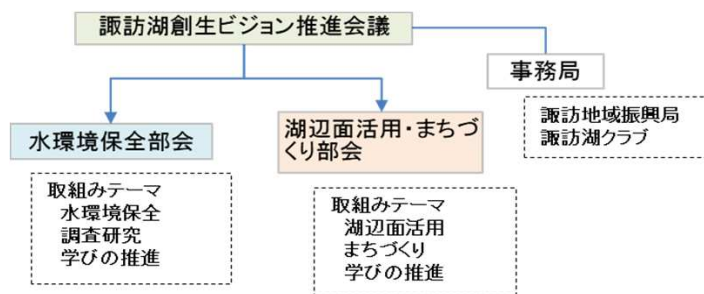
諏訪湖創生ビジョンとは?

■諏訪湖創生ビジョン (平成30年3月9日策定)

諏訪地域の宝である諏訪湖の水環境保全(水質、水量、生態系等)を統合的に推進し、諏訪湖を活かしたまちづくりと一体的に進めることで、「泳ぎたくなる諏訪湖」「シジミが採れる諏訪湖」「誰もが訪れたい諏訪湖」を実現していく道筋を示すとともに、県、市町村、諏訪湖に関わる取組をしている団体や企業、地域住民の皆様とともに、官民連携して諏訪湖を創生する拠りどころとなるものです。

長期ビジョン(20年後の目指す姿)として「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」を掲げ、取り組み分野ごとに今後の5年間での取り組みを記載しています。

■ビジョンの推進体制



事務局支援団体紹介 諏訪湖クラブの活動について

諏訪湖クラブは、「信州ネットSUWA」を発足させる等、諏訪湖周辺の環境・自然エネルギーに関わる問題等に取り組んでいます。

- 設立 平成19年12月1日
- 会長 沖野外輝夫(信州大学名誉教授)
- 正会員 89名(平成30年6月現在)
- 設立趣旨

諏訪圏域には、地域の環境保全を指向する沢山の団体が、それぞれの特性を活かした活動を行い、様々な試みがなされています。その結果、諏訪湖の浄化も未だ十分とは言えませんが、以前と比べれば目に見える形で進行しています。これら多くの団体の活動を大きな力として結集し、それぞれの活動内容を相互に情報交換する場を創出し、諏訪湖を核とする諏訪圏域の環境保全をさらにより良い形で推進・維持していくこと一環境を保全した持続的な経済的発展が可能な地域づくりをめざす、シンク・アンド・ドウを実践する団体として『諏訪湖クラブ』を設立しました。



写真-4 理事会の様子
毎月原則第3日曜日に開催しています

諏訪湖創生ビジョンの具体化に関心のある方は、個人でも団体でも、いつからでもご参加いただけます。

まずは、下記までご連絡をください。

事務局 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信2号

平成30年8月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



底層貧酸素改善対策の実験を進めています

諏訪湖クラブでは、県の地域振興推進費を活用し、諏訪湖の湖底へ、ナノバブル発生装置を利用して空気あるいは酸素を補給した表層の湖水を送り込み、ナノバブルの効果を検証しています。今年度は最終的にはその装置の動力源として太陽光発電を利用する計画が進行中です。(図-2参照)

[H29~30年度現場実験の目的]

- ①夏期底層の貧酸素状態の解消
- ②諏訪湖の底質改善の促進
- ③諏訪湖に見合った浄化装置の設計

- A地点 水深の深い箇所での酸素供給状況の確認
B地点 底質改善の効果確認



図-1 実験実施箇所

浄化に向けてのステップ

■60年前の正常な状態

植物性プランクトンを動物性プランクトンが摂食してバランスがとれている。

■富栄養化による変化

植物性プランクトンが異常繁殖、表層に集積、透明度が極度に減少、底層の酸素不足が頻発し底生動物類が減少する。

■正常化への期待

植物プランクトンの種類が変わり、動物プランクトンが増加、魚類や底生生物が増加、豊かな生物相の活動が活性化し捕食する魚や水中生物が増え、豊かな環境に復帰。

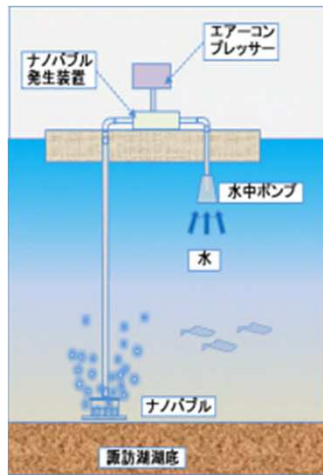


図-2 底層貧酸素改善の概要

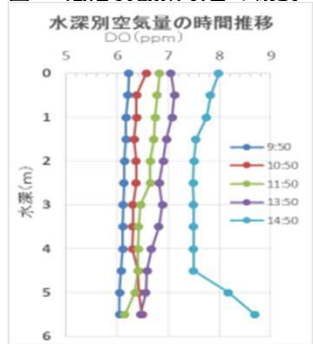
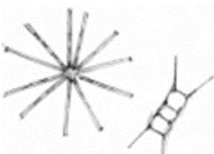


図-3 酸素濃度の推移 (2017.8)

ナノバブル発生装置を設置した岡谷市湊沖合の酸素量を水深別に測定し時間推移をグラフにしてみました。一般的には諏訪湖の水に溶け込む酸素量は水温と植物性プランクトンの発生量に左右されますが、装置設置約5時間後には水深5.5m付近の酸素濃度が2ppmくらい上昇しました。

諏訪湖で見られるプランクトン

植物性プランクトン



動物性プランクトン



図-4 現在の諏訪湖に多いプランクトン

現在行っている実験の概要

これまででは商用電力を使用して実施してきましたが、今年度夏期には太陽光発電システムを使用した実証実験を始めました。

諏訪湖創生ビジョン 水環境保全部会、湖辺面活用・まちづくり部会が開催されました

日時: 平成30年7月13日(金) 午後1時~
会場: 諏訪市文化センター第二集会室
参加者: 諏訪湖創生ビジョン推進会議部会員、一般市民等



写真-1 推進会議の様子

[内容]

- 1) 部会長及び副部会長の選出について
- 2) 平成30年度構成員事業計画等について
- 3) ワーキンググループの設置及びテーマ選定について

夏休みに県の施設公開がありました

◆夏休み 水の研究室

主催: 諏訪湖流域下水道事務所
日時: 平成30年8月3日(金)
場所: 豊田終末処理場

- 1) 処理場を探検してみよう
 - 2) 水をきれいにする小さな生き物を見てみよう
 - 3) 水の汚れを調べてみよう
- 16名の親子が参加してくれました。



写真-2 処理場内の探検

◆諏訪湖の生き物大集合

主催: 水産試験場諏訪支場
日時: 平成30年8月3日(金)
場所: 水産試験場諏訪支場

- 1) 諏訪湖の生き物展示
 - 2) プランクトンの観察
 - 3) みんなでエビの放流
 - 4) 水生昆虫の観察
- 43名の親子が参加してくれました。



写真-3 水生昆虫の観察

河川空間オープン化セミナーを開催します

「諏訪湖創生ビジョン」に掲げる「水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくり」の推進に向け、河川環境行政の方向性、河川占用の特例制度や先進地事例のノウハウ・アイデア等についての知識を深めるため、諏訪湖「河川空間オープン化」セミナーを開催します。

日時: 8月30日(木) 午後1時30分~午後4時
場所: 長野県諏訪合同庁舎 5階講堂
内容: ※講師は国土交通省担当官を予定

- 1) 水辺空間を活かしたまちづくりについて
- 2) 河川敷地占用許可準則の特例制度について
- 3) 「ミズベリング」について

2018クリーンレイク諏訪ふれあいまつりを開催します

日時: 平成30年9月8日(土) 午前10時~午後3時
会場: 豊田終末処理場 (クリーンレイク諏訪)
内容: 下水道関連の展示・実演 施設見学
プランクトンの観察
ステージ発表: 和太鼓、高校生ダンス他

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、人と生き物が共存し、誰もが訪れたくなる諏訪湖の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信3号

平成30年9月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



まちのにぎわいへ 諏訪湖の水辺活用の可能性が高まってきました

「諏訪湖創生ビジョン」に掲げる「水辺空間を活かした賑わいの創出や魅力あるまちづくり」の推進に向け、河川環境行政の方向性、河川占用の特例制度や先進地事例のノウハウ・アイデア等についての知識を深めるため、諏訪湖「河川空間オープン化」セミナーを開催しました。

- 日時：8月30日(木) 午後1時30分～4時
- 場所：諏訪合同庁舎 5階講堂
- 主催：諏訪建設事務所
諏訪湖創生ビジョン推進会議湖辺面活用・まちづくり部会
- 参加者：行政関係者38人、市民26人、計64人が参加

- 1)水辺空間を活かしたまちづくりについて
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 吉村 謙一氏
中部地方整備局 河川部河川環境課 吉田 光則氏
- 2)河川敷地占用許可準則の特例制度について
中部地方整備局 河川部建設専門官 尾畑 三幸氏
- 3)「ミズベリング」について
中部地方整備局 河川部地域河川課 櫻野 誠氏

■河川環境施策の変遷

- 河川法の改正の経緯
 - ・明治29年 近代化河川制度の誕生(治水)
 - ・昭和39年 治水と利水の異形的な制度の整備
 - ・平成9年 治水・利水・環境の総合的な河川制度
河川環境の整備とは、多自然型川づくり、自然再生事業により、積極的に良好な河川環境を形成すること。
- 河川占用許可準則の緩和
 - ・平成16年 特例措置 河川で社会実験
 - ・平成23年 河川占用許可準則の緩和

水辺を生かした地域活性化・観光促進 水辺リング

※ミズベリングとは「水辺+RING(輪)」+「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語です。水辺に興味を持つ市民や企業、行政が三位一体となり、美しい景観や新しい賑わいを生み出すムーブメントを起こすことを意味します。セミナーにおいて、この取組を実践するため、グループセッション実施しました。

- ※今回参加された方が諏訪湖に望んでいること
 - ・湖畔で景色を楽しみながらのカフェ、バーベキュー
 - ・水遊びができる空間が欲しい
 - ・水上レストランで食事やコーヒーを飲みたい
- などの意見が多くあがりました。

全国の先進事例から～こんな取り組みもあります。



写真-1 静岡県沼津市狩野川 川辺のビヤガーデンから花火



写真-2 愛知県岡崎市乙川 ウォーターパーク

諏訪湖創生ビジョン フォト・イラスト作品 選考会入賞作品展のご案内です

諏訪湖創生ビジョンの表紙などに使用するため募集した写真やイラストの諏訪湖創生ビジョンフォト・イラスト選考会入賞作品展を諏訪管内で開催しています。お近くへお越しの際は、ぜひご覧ください。

- 9月20日(木)～10月5日(金) 茅野市役所
- 10月10日(水)～10月29日(月) 原村役場
- 11月1日(木)～11月16日(金) 岡谷市役所
- 11月20日(火)～12月7日(金) 下諏訪町役場
- 12月10日(月)～12月26日(水) 諏訪市役所
(富士見町役場、グリーンイク諏訪、釜口水門は終了しました。)

ドローンによる魚食性鳥類追払い実証実験を実施しました

地域振興推進費を利用して、魚食性鳥類による漁業被害を軽減するための、ドローンによるカワウの追払い実証試験を実施しました。

- 平成30年8月28日(火) 午前8時～10時
- 主催：諏訪地域振興局、諏訪湖創生ビジョン推進会議水環境保全部会
- 試験場所：位置図図示



図-1 実施箇所位置図

消波堤などに降り立っていたカワウの群れに向けてスピーカーを搭載したドローンを飛行させるとカワウは一斉に飛び立ち、ある程度の効果が見られました。

一方、湖内に生息する他の生き物(ヨシゴイ、ササゴイなどの稀少な鳥など)への影響に対して配慮が必要という意見もあがりました。

今後は、これらの課題解決を図りながら、有効な追払方法を検討していきます。



写真-3 スピーカー搭載ドローン

グリーンレイク諏訪ふれあいまつりが開催されました

- 日時：平成30年9月8日(土)
 - 会場：豊田終末処理場(グリーンレイク諏訪)
 - 来場者：約900人
 - 内容：下水道関連の展示・実演
 - ・場内施設見学
 - ・プランクトン(微生物)の観察
 - ・ステージ発表:和太鼓・高校生ダンス他
- 写真-4 顕微鏡観察会
- 諏訪湖創生ビジョン推進会議でも、諏訪湖創生ビジョンに係るパネル展及びフォト・イラスト作品展を実施しました。



今後に予定しているイベント(9月20日以降)

●	9月23日(日)	「諏訪湖一周ウォーク」主催：諏訪市 集合：諏訪市湖畔公園 出発：午前9時
●	9月24日(月)	シンポジウム「考えよう僕らの諏訪湖、伝えよう豊かな自然」主催：岡谷市 会場：岡谷市カラホール 午後2時～
●	9月29日(土)	「地域の子どものための諏訪湖学習ツアー」主催：諏訪地域振興局 場所：諏訪湖周 午前8時45分：グリーンレイク諏訪集合
●	10月15日(月)～10月19日(金)	「第17回世界湖沼会議いばらぎ霞ヶ浦2018」主催：茨城県他 会場：つくば国際会議場

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、『人と生き物が共存し、誰もが訪れたい諏訪湖』の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信4号

平成30年10月22日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



世代をつなぐ、持続可能な活動をつなぐ～ 第4回川ごみサミットin下諏訪

私たちの身近な生活と密接に関わるごみが、川を通じて海へと流出し、生態系への悪影響が懸念されています。特に近年、海のマイクロプラスチックが世界的な環境問題としてその対策が迫られています。海に流出する前に、川や湖、町なかでのごみ発生抑制が重要となります。天竜川の水源となる諏訪湖では、高度成長期に汚染が深刻化して以降、地域で、水質や水辺の環境改善に取り組み、その成果も表れています。

本サミットでは、これらの取組みや下諏訪南小学校で行った「ごみ調査を活用した環境学習」などを学びながら、全国の河川・海洋環境保全に取り組む市民団体や個人、行政担当者、研究者などの多様な主体との意見交換、世代を越えた交流などを行い、これからの水辺のごみ問題の根本解決に向け考えます。

【開催概要】(予定)

- 日時: 平成30年11月24日(土) 午後1時～午後5時15分
- 会場: 下諏訪総合文化センター 小ホール
- 内容:
 - 1) 13:00 オープニング
 - 2) 13:10 第Ⅰ部 <世代をつなぐ> 子どもたちの活動発表、子どもたちからの提案
 - 3) 14:20 交流タイム (子どもたちのポスター発表)/休憩
 - 4) 14:50 第Ⅱ部 <持続可能な活動をつなぐ> 話題提供 全体討議&意見交換
 - 5) 17:00～ まとめ、閉会
- 参加費: 無料 ○定員: 300名
- 主催: 全国川ごみネットワーク
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会



写真-1 第3回保津川会議の様子



写真-2 下諏訪南小のゴミ調査

推進会議構成団体紹介コーナー 「下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会」

名称、略称は『湖浄連(こじょうれん)』と呼ばれています。きれいな諏訪湖、泳げる諏訪湖を取り戻すことを願い、昭和55年に設立。毎月1回 の湖岸清掃を中心に、諏訪湖浄化に向けた活動を行っています。

近年は水辺のごみ調査、またこれを活用した環境学習にも取り組み、次のステップに進もうとしています。

題字左の「よみがえれきれいな諏訪湖」の挿絵は、湖浄連が公募した平成11年諏訪湖浄化ポスター最優秀賞で、当時下諏訪南小学校6年 宮下翔太君の作品です。



写真-3 諏訪湖の清掃活動



写真-4 諏訪湖のごみの撤去

小型水草刈取船で新川のヒシの刈取りを実施しました

諏訪建設事務所は、小型水草刈取船を使って諏訪市豊田の新川のヒシの除去作業を実施しました。

- 日時: 平成30年9月3日～4日
 - 区間: 河口より約500m
- 小型船でどの程度まで除去できるか検証し来年度以降の参考に予定。



写真-5 刈取作業の様子

第23回「諏訪湖一周ウォーク」が開催されました

- 主催: 実行委員会(諏訪市)
- 日時: 平成30年9月23日(日)
- 出発: 諏訪湖湖畔公園 午前9時
- 参加: 県内外から家族連れや仲間のグループなど1,183人が秋晴れの下、湖を渡る風を感じながら元気に歩きました。



写真-6 長野日報掲載記事より

環境を考えるシンポジウム「考えよう僕らの諏訪湖、伝えよう豊かな自然」が開催されました

岡谷市の環境を考えるシンポジウム(主催: 岡谷市・自治総合センター)が下記により開催されました。

- 日時: 平成30年9月24日(月) 午後2時～
- 会場: 岡谷カノラホール参加
- 参加: 岡谷市内外から約300人
 - 1) 講演「東京湾を世界遺産にすべく奮闘中!」
木村尚さん(ザ!鉄腕!DASH!! DASH海岸出演)
 - 2) 事例発表: 岡谷南部中学校の湖岸清掃などの取り組み
 - 3) パネル討論「考えよう僕らの諏訪湖、伝えよう豊かな自然」をテーマに中島副知事、沖野諏訪湖クラブ会長及び武居諏訪湖漁業組合長らにより活発な議論が行われました。



写真-7 パネル討論の様子

「地域の子供たちのための諏訪湖学習ツアー」を実施しました

諏訪地域振興局は、昨年度に引き続き、地域振興推進費を活用して、諏訪湖周の県の施設などを親子で巡る「諏訪湖学習ツアー」を実施しました。今年度は新たに諏訪湖でのカヌー体験を加えました。

- 日時: 平成30年9月29日(土) 午前8時45分
- 場所: クリーンイコ諏訪、諏訪湖博物館
水産試験場諏訪支場、釜口水門
- 参加: 小学生親子6組14人
- カヌー体験講師: 白樺湖カヌースクール
福井博之代表



初めてカヌーに乗る人が多く、あいにくの雨でしたが、子供たちには「楽しかった」ととても好評でした。長野日報掲載記事より

今後予定されているイベントです	
● 11月24日(土)	「第4回河川ごみサミットin下諏訪」 主催: 全国川ごみネットワーク ・下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
既に開催されたイベントです	
● 10月7日(日)	「琵琶湖周航の歌100周年」碑前祭 主催: 実行委員会 会場: 釜口水門歌碑前 午後1時30分～
● 10月14日(日)	「天竜川シンポジウム」主催: NPO天竜川ゆめ会議 会場: 駒ヶ根市民交流センター「アルパ」3階 午前10時30分～午後5時
● 10月15日(月)～ 10月19日(金)	「第17回世界湖沼会議いばらぎ霞ヶ浦2018」 主催: 茨城県他 会場: つくば国際会議場
● 10月18日(木)～ 10月20日(土)	「諏訪圏工業メッセ2018」※諏訪湖クラブ 出展 主催: NPO諏訪圏ものづくり推進機構 会場: 諏訪湖イベントホール 午前9時30分～

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、『人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖』の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信5号

平成30年11月20日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



「第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦2018」が茨城県つくば市で開催されました

〈テーマ〉

人と湖沼の共生 — 接続可能な生態系サービスを目指して—

- 会 期: 平成30年10月15日(月)～19日(金)
- 会 場: つくば国際会議場
- 主 催: 茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会

長野県からは、中島副知事及び県庁環境部水大気環境課3名が出席しました。16日(火)には、湖沼法に基づく指定湖沼のうち、天然湖沼を有する5県(茨城県(霞ヶ浦)、長野県(諏訪湖・野尻湖)、滋賀県

(琵琶湖)、鳥取県(中海)、島根県(中海・宍道湖))により、「湖沼水環境保全に関する自治体連携設立」が宣言されました。

水環境保全に関して複数の県が連携するのは全国で初めてであり、宣言では、「湖沼の水質や生態系を含む水環境保全に関する取組をこれまで以上に強化する。」としています。

宣言後の16日(火)夜には、宣言に参加した5県によるワークショップが開催され、「シジミのすめる湖沼環境を目指した自治体の取組」をテーマに意見交換が行われました。

各県からの事例発表において、長野県からは、諏訪湖が抱える課題とその対策並びに「諏訪湖創生ビジョン」に基づく県の取組について紹介しました。

水大気環境課渡辺ゆかり課長は「諏訪湖は多面的な利用も求められ、カヌーやサイクリングといったレジャーの拠点として期待する声もある。生態系や水環境の保全ともバランスをとっていきたい」と話しました。



写真-1 連携を設立した5県の代表

推進会議構成団体紹介コーナー ② 「諏訪湖漁業協同組合」

諏訪湖は神代の昔から漁業が行われ、豊かな恵みによって地域文化を醸成してきました。しかし現在では、ワカサギの大量死など魚介類にとって厳しい湖になってしまっています。

諏訪湖漁業協同組合(組合長 武居薫)は約640名の組合員を有し、諏訪湖で漁業をする権利「漁業権免許」を受けています。漁獲量や獲れる魚の種類の減少に危機感を持って環境改善に取り組むとともに各方面に働きかけを行っています。

漁業権には魚を増やす(増殖)義務が課せられており、放流ばかりでなく、産卵や生息の場所である漁場環境の保全・整備も重要な活動です。

なお、一般の方が釣りをされる時には遊漁料が必要となりますが、これは増殖費用の一部をご負担いただくということなのです。



写真-2 ワカサギ

「諏訪湖をきれいにしちゃいましょう大☆作☆戦」(諏訪湖ボーイズ&ガールズ)

諏訪湖ボーイズ&ガールズは諏訪地域の高校生が主体となり、諏訪湖で泳ぐことを目指して活動するグループです。

きっかけは昨年の諏訪湖マラソンにさかのぼります。秋の諏訪湖を走りその臭いを感じる中で、諏訪湖に対し何かできることをしたいという気持ちが強くなりました。

でもただゴミを拾うのは面白くない。そこで県内の高校生が課題解決に向け行動する「信州高校生プロジェクトふるぷろin諏訪」の議論を基に、拾ったゴミの量を楽しくチームで競い合う「スポーツごみ拾い」による「諏訪湖をきれいにしちゃいましょう大☆作☆戦」を企画しました。

第1回は3月25日、第2回は10月6日に開催し、多くの方の参加をいただきました。

これからもヒシ取りやお楽しみ会など、いろいろなイベントを通じて、楽しみながら諏訪湖をきれいにしていきたいと考えています。



写真-3 諏訪湖のごみ拾い

諏訪湖創生ビジョン推進会議の2つのワーキンググループが動き始めました

諏訪湖創生ビジョン推進会議ワーキンググループ

- 「諏訪湖の日」の制定の検討グループ(12人)
- ゴミの無い諏訪湖グループ(11人)

2つのワーキンググループが動き始めました。

第1回会議は9月28日(金)に開催し、熱心な議論が交わされました。「諏訪湖の日」の制定の検討グループでは、諏訪湖への関心を高める必要性と「諏訪湖の日」の制定の是非などを、ゴミのない諏訪湖グループでは諏訪湖のゴミについて感じていることなどを議論しました。

年度内に一定の結論を出すことを目標に、議論を重ねていきます。

なお、「諏訪湖の案内人の育成」グループにつきましては、もう少し時間をかけて既存の取組との調整を図るなどをしてから改めて開催させていただきます。



写真-4 ワーキングの様子

今後に予定しているイベントです	
● 11月24日(土)	「第4回川ごみサミットin下諏訪」 主催: 全国川ゴミネットワーク 下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会
すでに開催されたイベントです	
● 10月15日(月)～ 10月19日(金)	「第17回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦2018」 主催: 茨城県他 会場: つくば国際会議場
● 10月18日(木)～ 10月20日(土)	「諏訪圏工業メッセ2018」 主催: NPO諏訪圏ものづくり推進機構 会場: 諏訪湖イベントホール 午前9時30分～
● 10月28日(日)	「諏訪湖マラソン」 主催: 諏訪圏健康推進協議会 スタート午前10時 参加者8,000人
● 11月5日(月)	諏訪湖創生ビジョン推進会議第3回湖辺面活用・まちづくり部会 午後1時30分～ 諏訪合同庁舎講堂 部会員及び一般48人参加

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、『人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖』の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信6号

平成30年12月20日号 発行：諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖のヒシの繁茂とヒシの刈り取り

ヒシは全国の湖沼やため池などに分布する浮葉植物で、葉には海綿状の浮袋があり、通常は水深2mより浅い沿岸域に繁茂することが多く、7月～10月に一日花を咲かせ、果実はトゲをもち結実後、茎から離脱し沈下します。種子で越冬し、4月頃発芽します。ヒシの実は、古来食料や胃腸薬として重用されました。ヒシをはじめとする水草類は、湖の生態系の一部として貴重な役割を果たしているばかりではなく、自然景観としても貴重な存在です。

ヒシが育つ区域は、適当日陰を形成し、エビや小魚の生息する場を提供するだけではなく、カイツブリの営巣の場としても利用されています。また、ヒシの水中根、水中葉や茎に付着する付着藻類やバクテリアが窒素、リンなどの栄養塩類を水中から吸収するため、水質の浄化に寄与し、アオコの発生が抑制されると言われています。



写真-1 ヒシの種子



写真-2 ヒシの花

その一方で、ヒシの繁茂は水の流れを妨げ、また枯死したヒシは底層の酸素を消費するなど湖岸域の貧酸素化を招き、さらに景観面の悪化にも繋がっています。

また、漁船や観光船などの航行に支障となることや、腐食により窒素やリンが溶出してしまうこと、植物体が枯死する時期には、異臭の発生などが課題となっています。その対策として、諏訪湖ではエリアを定めて一定量の刈り取りを行っています。



写真-3 ヒシ刈り取り船



図-1 ヒシの繁茂地

○諏訪湖のヒシ刈取規模（平成30年度）

ヒシの刈取量 540.7トン（流入河川含む）

参考：繁茂面積 163ヘクタール（速報値）

推進会議構成団体紹介コーナー ③ 株式会社 みのり建設

諏訪湖で毎年刈取りが行われているヒシは、大量繁茂により、貧酸素化に伴う漁業への影響などがあり、諏訪湖のやっかいものと思われていますが、実は、優秀な有機物資源でした。浮遊植物のヒシは、沈水植物に比べ底泥から養分の吸収が多いと言われています。ヒシごと、吸い上げた養分を持ち出すことは、水質浄化に一定の効果がありそうです。私たちは堆肥化することで、資源として取り出し、利用する事で減肥につなげ、流入養分の減少が水質改善につながることを期待しています。

さらに諏訪湖を中心とした上流地域と下流地域での資源利用による持続可能な循環型社会を目指しています。

所在地：富士見町富士見11693-7
電話 0266-62-2605 FAX 62-2990
社長 宮坂 典利



写真-4 すわっこヒシパワー

第4回川ごみサミット in 下諏訪が開かれました

○開催日時：平成30年11月24日（土）午後1時～午後5時15分

○会場：下諏訪総合文化センター あすなるホール

○主催：全国川ごみネットワーク

下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会

○テーマ「世代をつなぐ、持続可能な活動をつなぐ」

世界的な環境問題となっている海のプラスチックごみ対策が迫られている今、天竜川の源流である諏訪湖から、川ごみ発生抑制策について考えようと、県内で初めて開催され、全国各地からおよそ130人が参加しました。

「世代をつなぐ」観点から、下諏訪南小学校6年3組の皆さんによる環境学習の事例発表や、パネルディスカッション、諏訪湖ボーイズ&ガールズ（岡谷東高校の生徒さん）による活動紹介など、未来の諏訪湖を守っていくであろう若い世代の皆さんからの発表がありました。

休憩時には、ロビーにおいて、小学生の展示に対して参加者が質問するなどの交流タイムも設けられました。

環境保全に関係する団体からの、活動・意見発表があり、会場からも、熱心に質問や提案などが出されていました。

翌25日（日）朝7時から、湖岸清掃を行い、環境省、国土交通省の職員、業界団体の職員及び全国各地の河川保護団体の皆さんなどが参加しました。同時に水辺のごみ調査も行い、諏訪湖にはどのようなごみがどの位あるのか確認しました。



写真-5 交流タイムの様子

第3回 諏訪湖創生ビジョン推進会議 湖辺面活用・まちづくり部会を開催しました

○開催日時：11月5日（月）午後1時30分～午後4時

○会場：諏訪合同庁舎講堂

○参加者：部会員及び一般参加者 48名

○「諏訪湖創生ビジョン」に掲載されている「サイクリングロード・ジョギングロードの利活用」「カヌー、ボートの利用」「インフラツーリズム」などについて活動している構成員から取組状況の説明がありました。

その後「諏訪湖創生ビジョン」の実現に向け諏訪湖を活かした観光施策について、諏訪湖周の観光振興、健康づくり、安全・快適の観点から、ワークショップ形式で意見交換を行いました。



写真-6 部会の様子

○主な意見

- ・ユニバーサルツーリズムで諏訪湖を活用
- ・サイクリングロードの照明を統一規格にし、景観にも配慮する
- ・ジョギングなどをした後に血圧を測り健康管理するのも良い
- ・カヌー、カヤックで、流入河川、諏訪湖、舟通しの体験ツアー
- ・湖周の美術館等を周り、途中インスタ映えするフォトスポットで美しい諏訪湖を見てもらうアートツーリズム

今後に予定しているイベントです

●	12月24日（月・祝）	「サンタライド」自転車に乗ったサンタやトナカイがクリスマスプレゼントを配ります。 主催：諏訪湖八ヶ岳自転車活用推進協議会
●	1月1日（火・祝）	諏訪湖遊覧船「初日の出号」出航 諏訪観光協会・諏訪市貸船組合
既に開催されたイベントです		
●	11月14日（水）	「八十二銀行諏訪地区行友会」（OB会）参加約50名にて諏訪湖創生ビジョンの説明 諏訪地域振興局企画振興課
●	12月2日（日）	「藻刈舟」進水式 主催：NPO法人諏訪市セーリング協会
●	12月14日（金）	ドローンによる魚食性鳥類対策現地検討会 諏訪地域振興局農政課

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、『人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖』の実現を目指し取り組みます。
事務局：諏訪地域振興局企画振興課 TEL：0266-57-2901



諏訪湖通信7号

平成31年1月21日号 発行: 諏訪湖創生ビジョン推進会議



約4千キロ離れたシベリアから白鳥の飛来

冬の諏訪湖にやってくる代表的な渡り鳥はコハクチョウです。北極に近い東シベリアから、カムチャッカ、北海道、東北地方の日本海側沿いに高い山脈を避け一ヶ月近くかけて、約4,000km離れた諏訪湖に飛んできます。安曇野の犀川には毎年10月中旬にやってくるのですが、諏訪湖には12月19日に飛来しました。

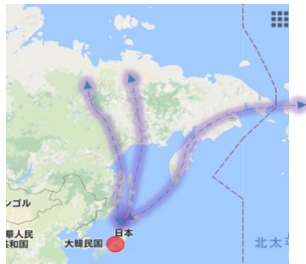


図-1 飛来するコース

ハクチョウは家族愛の強い鳥で、冬を越して北帰行の時は、家族がケガをすると、治るまで待っているのです。遅い時は5月まで残っている時もあります。重さは5~6kgもあり、鳥としては最大級です。



写真-1 挨拶をしています

諏訪湖遊覧船「初日の出号」が出航しました

新しい年を迎えお喜び申し上げます。1月1日早朝、最低気温マイナス8.5℃の厳しい冷え込みの中、諏訪湖畔は、諏訪湖上から初日の出を拝もうという沢山の人で賑わいました。諏訪市観光協会と諏訪市貸船組合が運行する諏訪湖遊覧船『初日の出号』が今年も諏訪湖畔ロイヤル棧橋から出航、約200名の家族連れや観光客が乗船しました。午前6時50分竜宮丸に続き、すわん号が出航、諏訪湖のほぼ中央において停船。午前7時10分頃八ヶ岳の裾野から初日の出が顔をだし、風もなく、穏やかな湖面を照らしていました。



写真-4 平成最後の初日の出

「諏訪湖創生ビジョン」が、国の「流域水循環計画」に認定されました

国(内閣官房水循環政策本部事務局)では、各地域における健全な水循環のための流域マネジメント推進の取組を行っており、全国各地の水循環に関する計画等について、水循環基本計画(H27.7)に基づき「流域水循環計画」に該当する場合は認定し公表しています。

今般、昨年3月に策定した「諏訪湖創生ビジョン」が認定されました。これにより、ビジョンに掲げる一部の取組について、国土交通省所管の交付金の配分に当たり配慮される場合があります。本県関係では、昨年1月の安曇野市に続き2例目となります。

【詳しくは以下のホームページをご覧ください】
官邸(水循環政策本部)HP
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/mizu_junkan/
内閣官房HP
<https://www.cas.go.jp/>
内閣官房水循環政策本部事務局HP
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junkan/index.html

「環境保全に関するポスターコンクール 小学校低学年の部」で最優秀賞を受賞しました



県と信州豊かな環境づくり県民会議主催の「環境保全に関するポスターコンクール」は、毎年、環境保全に対する理解と関心を深め、省エネ活動などへの意欲を高めるために実施されています。今年「環境保全に関するポスターコンクール 小学生低学年の部」において、諏訪湖を題材とした諏訪市立中洲小学校3年 平出銀而さんの作品が最優秀賞を受賞しました。

- Q1: ハクチョウは何を食べていますか？
◆植物性の色々なものを食べます。主に水草、その他の草の根、実などを食べます。
- Q2: ハクチョウはどうして4000キロも飛べるのですか？
◆空気抵抗の少ない流線的な体を持ち、翼がとて大きいからです。
◆翼を動かす筋肉胸筋が非常に発達していて、大変軽くて丈夫な骨組みをしています。
◆また、食べ物をすばやく消化し、能率的に排泄する仕組みができていて、体を軽くすることができます。
- Q3: ハクチョウは諏訪湖には何羽飛来してきますか？
◆多い年は、100羽でしたが、ここ数年は100羽未満です。
- Q4: ハクチョウの家族は何羽ですか？
◆両親を入れて4~6羽くらいです。全体に灰色のハクチョウがその年に生まれた子供です。
◆飛ぶときには、普通、最初が父親で中間に子供、最後に母親の順番です。

推進会議構成団体紹介コーナー ④ 諏訪湖白鳥の会

諏訪湖(横河川河口)に、昭和49年11月、2羽の白鳥が飛来してから今季で45シーズンとなります。会発足は昭和59年で、飛来初認日・終認日・羽数等を観察、記録しています。鉛中毒の白鳥を保護したり、湖中の鉛錘を回収するなどの活動をしてきました。

また、諏訪湖アダプトプログラムに参加し、現在は飛来地の環境整備として草刈り、ゴミ拾い、アレチウリの除去等を行い、毎季、初飛来後は早朝に補足的な給餌と観察・記録をしています。

見た目にはきれいな諏訪湖ですが、プラスチックの棒や管が白鳥の首に挟まっている姿が目撃されています。冬の風物詩として地域の皆さんに親しまれている白鳥を通じて、貴重な自然である諏訪湖の環境を考えられるよう活動を続けていきたいと思っております。

諏訪湖白鳥の会 会長 白田正夫
事務局長: 花岡幸一 事務局: 阿部正則



写真-2 首に棒の絡んだ白鳥



写真-3 鉛中毒の白鳥を保護

今後に予定しているイベントです

● 1月29日(火)	「諏訪湖浄化講演会」主催: 諏訪湖浄化対策連絡協議会 時間: 午後6時30分~午後8時 場所: 諏訪市役所 講師: 全国川ごみネットワーク理事 小口智徳氏
● 2月2日(土)	~光 つながる 諏訪の国~ 灯そう! アイスキャンドル 主催: アイスキャンドル実行委員会 場所: 6市町村各所 点灯時間: 午後5時~
● 2月6日(水)	「環境ミニフォーラム」主催: 諏訪湖ライオンズクラブ 時間: 午後1時30分~午後4時 場所: おぎのやドライブイン諏訪インター店 内容: 中島副知事講演会、関係団体活動発表など

既に開催されたイベントです

● 1月1日(火・祝)	元旦マラソン走り初め 諏訪湖走友会
-------------	-------------------

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、『人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖』の実現を目指し取り組みます。
事務局: 諏訪地域振興局企画振興課 TEL: 0266-57-2901



諏訪湖通信8号

平成31年2月20日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



治療してくれた恩を忘れずに諏訪湖に やってくるオオワシ「グル」

冬になると諏訪湖にはロシア極東から1羽の巨大なオオワシ(国の天然記念物)が飛来します。1996年に初めてやってきた頃は幼鳥でしたが、1999年1月4日に湖面に落ちて弱っているのが見つかって保護されました。県の野生傷病鳥獣救護ボランティアの林正敏さんが、家で約50日間、献身的な介護飼育をしたことで元気を回復、再び大空に帰りました。最初にグルッと鳴いたので「グル」と名付けられたこのオオワシは、昨季で連続19回の飛来となりました。助けられた時の体重は5.8kgで、放された時は6.4kgだったそうです。人に助けられた鳥が、回復してこんなに長く生存を確認された例は他になく、まさに奇跡の鳥というほかありません。



写真-1 林正敏さんとグル



写真-2 カラスと獲物の取り合い

オオワシは、日本に棲む猛禽類では最大の種で、全長はオス約90cm、メス約100cm、翼張は220-250cm、体重は5-9kgもあります。嘴(くちばし)は大型で湾曲していて長さは66-75mmもあり、かなり大きく、嘴や後肢の色彩は黄色やオレンジ色をしています。夏季にロシア東部カムチャッカ半島、サハリンなどで繁殖し、冬季になると越冬のため朝鮮半島等に南下します。日本では北海道を主に一部は本州に渡来します。餌は主に魚類、鳥類や小型の哺乳類等を捕えますが、シカやアザシなどの死体も食べます。

諏訪市大和あたりの林をめぐらしていたグルへの影響に配慮し、始めたばかりの砂防えん堤工事を、グルが帰るまで中断したこともありました。

しかし今季は、残念ながら未だグルの姿が見えません。「グル到着」のニュースを多くのグルファンが待ちわびています。

推進会議支援団体紹介コーナー ⑤ 日本野鳥の会諏訪支部

戦後間もない昭和21年につくられた諏訪探鳥会が前身で、同31年に日本野鳥の会諏訪支部に改組して以来63年経過。この間、会の理念である「自然を守り賢明に利用し、野鳥をとおして自然に親しみ守る運動を、社会の信頼を得て発展させる」を念頭に取り組んできました。現在の会員数は230人。活動は一般市民が参加できる毎月の野鳥観察会、隔月の支部報発行、塩嶺小鳥バスの案内、野鳥の勉強会(野鳥わいわい塾)、講演会や研究発表会、行政への提言、環境美化活動(アダプトプログラム参加)など行っています。持続ある人間社会は、野鳥の繁栄に代表された豊かな自然なくしてあり得ないことを多くの方に体感して頂けるよう、これからも頑張ります。

日本野鳥の会諏訪支部長 林正敏



写真-3 鳥の講演会



写真-4 諏訪湖清掃活動

「しあわせ信州移動知事室」が諏訪地域で開催されました

第10回「しあわせ信州移動知事室」が平成31年1月15日、16日の両日諏訪地域で開催されました。知事が広い県土を持つ本県の様々な課題をタイムリーに把握し、スピード感を持って県政全般に反映させていく取組です。

その一環として16日に、諏訪湖の環境活動に取り組む諏訪市立高島小学校6年1部の児童の皆さんと阿部知事との懇談が行われました。

児童の皆さんが取り組んできた諏訪湖浄化に関するプロジェクトの発表後、子ども目線から見た諏訪湖浄化の現状や課題などについて、阿部知事と意見交換を行いました。

児童の皆さんからは、「上流でゴミを流さないよう、水質だけでなくゴミにも関心を向けてほしい」「多くの人諏訪湖に集まり、諏訪湖を大事にしたいと思えるようになってほしい」などの意見が出され、阿部知事からは、「皆さんの清掃活動の取組を大人にも広げられるよう県も皆さんと一緒に考える。私と一緒に『泳ぎたくなる諏訪湖』『シジミの採れる諏訪湖』にしようと、たくさんの人に伝えてもらえるとうれしい。ぜひ協力してください。」とコメントがありました。

この時の様子は、エルシーブイで収録され、ニュース番組「NEWS+アイ」にて特集で放送されました。2月27日までインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.lcv.jp/lcv-tv/news/index.html>



写真-5 移動知事室の様子

今年はお神渡りは出現せず「明けの海」が宣言されました

今年残念ながらお神渡りは出現しませんでした。氷の張らない湖を「明けの海(あけのうみ)」といいます。

お神渡りの発生した年のデータから①平均気温が-2℃以下②日最低気温が-6℃以下③-10℃以下が連続3日以上続くと発生する確率が高いと言われています。

和暦	西暦	御神渡	1月の日平均気温			③-10度以下
			①日平均気温	日最高平均	②日最低平均	
H31	2019		0.3	4.1	▲ 5.7	0
H30	2018	○	▲ 1.2	3.4	▲ 5.7	4
H29	2017		▲ 0.8	2.9	▲ 5.0	3
H28	2016		▲ 0.3	4.3	▲ 4.3	3
H27	2015		▲ 1.4	3.0	▲ 5.6	3
H26	2014		▲ 1.8	3.6	▲ 6.3	5
H25	2013	○	▲ 2.5	2.4	▲ 6.9	10
H24	2012	○	▲ 2.2	2.3	▲ 6.5	6
H23	2011		▲ 2.7	2.3	▲ 7.2	3
H22	2010		▲ 0.4	4.5	▲ 5.0	1
H21	2009		▲ 0.6	4.4	▲ 5.3	3
H20	2008	○	▲ 1.3	3.2	▲ 5.3	15
H19	2007		▲ 0.1	4.4	▲ 4.1	0
H18	2006	○	▲ 2.1	2.8	▲ 6.3	6
H17	2005		▲ 1.5	3.1	▲ 6.2	2
H16	2004	○	▲ 1.9	3.4	▲ 6.6	5
H15	2003	○	▲ 2.7	2.3	▲ 8.1	14
H14	2002		▲ 0.2	4.6	▲ 4.4	2
H13	2001		▲ 2.7	1.7	▲ 7.3	20



写真-6 平成30年2月の お神渡り

今後に予定しているイベントです

- 3月3日(日) 第3回諏訪湖をきれいにしちゃいましょう大☆作☆戦 主催:諏訪湖ボーイズ&ガールズ 集合場所:岡谷市湊小グラウンド 対象:小学生親子ペア
- 3月12日(火) 第2回諏訪湖創生ビジョン推進会議水環境保全部会 第2回諏訪湖創生ビジョン推進会議 場所:諏訪合同庁舎5階講堂

既に関催されたイベントです

- 1月29日(火) 「諏訪湖浄化講演会」主催:諏訪湖浄化対策連絡協議会 時間:午後6時30分~午後8時 場所:諏訪市役所 講師:全国川ごみネットワーク理事 小口智徳氏
- 2月6日(水) 「環境ミニフォーラム」主催:諏訪湖ライオンズクラブ 時間:午後2時~午後4時 場所:おぎのやドライブイン諏訪インター店 内容:関係団体活動発表など

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたい諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901



諏訪湖通信9号

平成31年3月20日号 発行:諏訪湖創生ビジョン推進会議



諏訪湖創生ビジョンに基づき実施した取組を紹介します(諏訪建設事務所)

諏訪湖創生ビジョンにより計画した事業の推進を図るため諏訪建設事務所です平成30年度に取り組んだ事業を紹介します。

① 諏訪湖周サイクリング道路の整備

諏訪湖周囲の約16kmを長野県及び関係する2市1町で施工区分を決め、整備を進めています。県道岡谷茅野線と諏訪辰野線の諏訪湖に接する区間は長野県が整備を、それ以外の区間は、市町が整備を行います。

平成30年度に行った事業内容は下の表のとおりです。

長野県	3.7km	詳細設計 L=1.1km	岡谷茅野線
	2.9km	一部工事実施 L=0.8km	諏訪辰野線
諏訪市	2.8km	予備設計 L=2.8km	
下諏訪町	4.1km	一部詳細設計 L=0.6km	
岡谷市	2.5km	詳細設計 L=2.5km	



図-1 実施事業 位置図

諏訪湖創生ビジョン推進会議が信州協働大賞「大賞」を受賞しました

『信州協働大賞』とは、長野県が策定した「信州協働推進ビジョン」に基づいて、共通の目的の実現のため、関係者がお互いを理解し、それぞれの特性を活かしながら、様々な主体が協力・協調し活動する「協働」を推進するため、優れた協働事業を実施している組織が表彰されるものです。

このたび諏訪湖創生ビジョン推進会議が、「大賞」を受賞しました。諏訪湖の環境改善は長年の大きな課題であり、直面する諏訪地域の課題に対し、多様な事業主体(県・市町村・民間団体・住民等)が協働して諏訪湖創生に取り組んだ実績が評価されました。

3月11日に、県庁において開催された表彰式に、沖野外輝夫会長が出席し、阿部知事から表彰状の交付がありました。



写真-1 沖野会長と阿部知事

推進会議構成団体紹介コーナー ⑥ NPO法人 諏訪市セーリング協会

諏訪湖でのヨットの歴史は長く昭和53年のやまびこ国体をきっかけに活動が盛んとなりました。また、2027年に開催される長野国体に向けて会員が一丸となり準備を進めているところです。私たちは、諏訪湖を利用してセーリングスポーツを親しむ人達、あるいはこれから参加しようとする人達等に対し、マリンスポーツへ参加する機会を与えたとともに継続的な活動を行うための支援に関する事業を行い、セーリングスポーツの普及・振興と、安全知識の普及に寄与するとともに、活動への参加を通して諏訪湖の環境保全や環境整備に関する意識啓発を行うことを目的としております。ヨットは敷居が高そうだと思うかもしれませんが決してそんなことありませんので是非とも遊びに来てください。



写真-2 諏訪湖の風を受けて

また、復活した藻刈り船の活用について利用される団体等あれば貸し出しいたします。ご連絡ください。

NPO法人 諏訪市セーリング協会 代表 横山 真

② 上川の河川敷を利用した水生植物による水質浄化

河川水に含まれる窒素・リンを除去するため、諏訪湖の流域の半分を占める上川にて、車橋下流の右岸河川敷に水路を設置し水生植物(ヨシ)による植生浄化の取り組みを始めました。

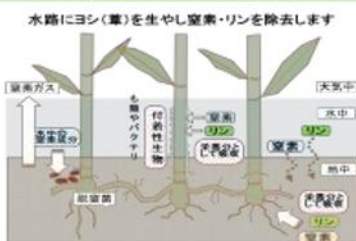


図-2 ヨシによる浄化の仕組み

③ 防災拠点整備に伴う護岸整備

大規模災害時等に湖上の緊急輸送路として活用する護岸整備(防災船着き場)に着手しました。

また、下諏訪町が建設する漕艇庫(指定避難所兼防災倉庫)と合わせ、防災拠点としての一体的な整備を進めます。



図-3 防災護岸と漕艇庫の完成予想図

④⑤ 繁茂するヒシの刈り取り(諏訪湖及び新川下流)

④ 諏訪湖のヒシ刈り取り 513トン

諏訪湖のヒシ繁茂区域 163ha →図-1 の箇所

⑤ 新川下流のヒシ刈り取り

小型刈り取り船で試行

今後に予定しているイベントです

- 4月13日(土) 第60回諏訪湖開き 主催:(一社)諏訪観光協会
- 4月21日(日) 諏訪湖さざなみ駅伝 主催:諏訪湖走友会 時間:午前8時30分

既に開催されたイベントです

- 3月3日(日) 第3回諏訪湖をきれいにしちゃいましょう大☆作☆戦 主催:諏訪湖ボーイズ&ガールズ 対象:小学生親子ペア約70人参加
- 3月9日(土) 環境ワークショップin諏訪湖 主催:高島小学校6年1部 場所:諏訪市石影公園
- 3月11日(月) 平成30年度河川・道路アダプト活動報告会 主催:諏訪建設事務所 場所:諏訪合同庁舎5階講堂
- 3月12日(火) 第2回諏訪湖創生ビジョン推進会議 場所:諏訪合同庁舎5階講堂 約70人参加

諏訪湖創生ビジョン推進会議は、「人と生き物が共存し誰もが訪れたくなる諏訪湖」の実現を目指し取り組みます。事務局:諏訪地域振興局企画振興課 TEL:0266-57-2901